

大阪府立鶴見商業高等学校 令和6年度 入学者選抜について

アドミッションポリシー（求める生徒像）

本校は、愛（人を思いやる気持ち）・誠（誠意を尽くす気持ち）・礼（礼儀をわきまえる態度を持った人間になってほしい）の校訓をふまえ、社会の様々な場面で活躍できる人材の育成を目標としています。
将来のビジネスシーンに必要な基礎・基本を習得し、何事にも前向きに取り組むことのできる生徒を求めます。

- 1) 商業の学びに興味・関心があり、学校生活を意欲的に取り組む生徒
- 2) ビジネスマナーを身につけるために必要なルールやマナーを守る意識の高い生徒
- 3) ビジネス活動に必要な資格取得に向けて一生懸命努力することのできる生徒
- 4) 豊かな人間形成に必要な学校行事や部活動などに積極的に参加することのできる生徒

入学者選抜の問題の種類と倍率のタイプ

本校では、令和6年度入学者選抜の問題の種類と倍率のタイプを次のように決定しました。

※それぞれの種類やタイプの説明は下記の参考資料をごらんください

学科名	学力検査問題の種類			倍率のタイプ
	国語	数学	英語	
商業科	B	A	A(変更しました)	IV

（参考資料1）一般入学者選抜における問題の種類及び特徴

種類	特徴		
	国語	数学	英語
A (基礎的問題)		基礎的な計算問題を出題するとともに、「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出題する。	〔筆答〕基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出題する。 〔リスニング〕自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出題する。
B (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出題する。		

（参考資料2）一般入学者選抜における学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ

倍率のタイプ	学力検査の成績にかける倍率	調査書の評定にかける倍率	参考		
			学力検査の満点	調査書の満点	総合点
IV	0.8 倍	1.2 倍※	360 点	540 点	900 点

【参考資料1・2はともに大阪府教育委員会により公表された資料を使用しています】

※調査書の評定については、中学1年生～3年生の全評定の合計をもとに算出されます

ただし、各学年の評定の比率は1年生:2年生:3年生=1:1:3で計算されます

（参考）⇒【「1年評定合計」+「2年評定合計」+「3年評定合計」×3】×2=450点満点

本校ではこの調査書の「450点満点」の部分に1.2倍したものを入学者選抜の資料として使用します

また、当日の学力検査(5教科×90点=450点満点)は、その総得点を0.8倍したものを使用します